

裏金事件 少数の「カネ持ち支配」の構造

野口雅弘・成蹊大学法学部教授

2024年2月27日



記者団の取材に応じる岸田文雄首相＝首相官邸で2024年2月22日、竹内幹撮影

自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる裏金事件で、今の政治の危うさがあらわになりました。政治思想が専門の野口雅弘・成蹊大学法学部教授と考えました。【聞き手・須藤孝】



――どうしてこんなことになってしまったのでしょうか。

野口氏 今回の事件では、特定の人や企業にわかりやすく便宜を図った構図はみえません。ロッキード事件やリクルート事件とは違います。

一体なんのためにこんなことをやったのか、よくわからないまま、おカネと権力の結びつきがあらわになったことが特徴です。



記者団に衆院政治倫理審査会出席の意向を表明する自民党の西村康稔氏＝国会内で2024年2月21日、竹内幹撮影

私はカネ持ち支配、**プルートクラシー**（プルートスはギリシャ神話の富と収穫の神）と言っています。マックス・ウェーバーが使っている言葉です。

おカネを持っている人が政治に影響力を行使しやすくなり、政治家になればおカネが入ってきやすくなる。一部の人たちのなかで支配が完結する傾向が強まっています。

「おカネを持っている人」からしか

——何に使うためだったのか、はっきりしません。

◆岸田文雄首相が子どもに首相になった理由を聞かれて、「**日本の社会のなかで一番、権限の大きい人なので目指した**」と答えていました。

なぜやりたいことを言わないのでしょうか。今回の事件で、なんのためにおカネを集めていたのかわからないことと符合しています。

権力を持つことが自己目的化し、中にいる人もそこから降りられなくなっています。おカネはあふれていますが、なんのためにやっているのか、本人にもわからなくなっているのではないのでしょうか。



記者団に参院政治倫理審査会出席の意向を表明する自民党の世耕弘成氏＝国会内で2024年2月21日、竹内幹撮影

——**被害者は誰**でしょうか。

◆**おカネを持っていない人**です。金銭力を持たない人は、政治家に自分の意見を届けることができなくなり、政治にアクセスできなくなっています。

岸田首相は「聞く力」と言っていましたが、すべての人から要望を聞くことはできません。**岸田首相には、おカネを持っている人からしか意見が入ってこなくなっているのではないのでしょうか。**

「カースト化」している

——一部の人たちの政治になっているということですか。

◆カネ持ち支配は少数の人たちの支配です。構造が固定化され、強化され続けていることが問題です。政治家の世襲が問題なのは、利害関係者とおカネが集まりやすい構造が固定化するからです。

一般の人が政治の世界に参入することが難しくなっています。政治の土俵に上がれる人自体、すでに特権階級になっているのではないのでしょうか。「カースト化」していると言っているのでしょうか。

——「カースト化」とは厳しい言葉です。

◆今の日本は、どこで生まれたか、どんな親から生まれたか、どのような経済的・社会的条件のもとで生きているかで、かなりのところまで決まってしまう社会になりつつあります。それがもっとも強く出ているのが政界です。

生まれた時から同じカーストにいて、自分たちにカネが入ってくるのは当たり前だと思ってしまうようになれば、それだけ自制心は失われます。



記者会見の冒頭に陳謝する松野博一前官房長官＝衆院第1議員会館で2024年1

月26日、竹内幹撮影

昔の自民党の政治家には、マックス・ウェーバーの「職業としての政治」を熱心に読んで、権力への恐れや自制心を説く人がいました。

それと関係するかどうかはわかりませんが、カースト化が進めば、カネや権力への自制心は薄くならざるをえません。

政治が遠くなっている

——弊害が大きいですね。

◆プルトクラシーのもとでは支持してくれる少数の人を相手に政治をすることになります。

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）のような少数の人たちが影響力を持ってしまうのは、政治に関わる人の範囲が狭くなっているからです。そのなかでおカネがまわり、政治家との距離が近くなれば、旧統一協会のような、一般の世論とはかけ離れた主張も通るようになります。



自民党安倍派の常任幹事会に臨む萩生田光一前政調会長 = 東京都千代田

区の同党本部で 2024 年 2 月 1 日、竹内幹撮影

——政治が遠く感じられるのも無理はありません。

◆**一部の人がだけでゲームをやっている**としか見えなくなったら、「なんのために投票するのか」と感じるようになるでしょう。

私は昨年まで**ドイツ**にいましたが、**デモなどの抗議行動がある程度大きくなると、政権も仕切り直します**。国民に、自分たちの行動が有効だという感覚があります。

しかし日本の場合は、国民の不安が表明されて争点になり、政治家が考え直すコミュニケーションがうまくつながりません。

閉塞（へいそく）したカーストのなかでおカネがまわっていて、その中の人はまったくおかしいと思いません。

外からみると違和感が強いのですが、それを届けるルートがありません。だからよけいにカースト化、特権化、カネ持ち支配が進むのです。

——対応策はあるのでしょうか。

◆今、このプルートクラシーの構造が露骨に形成されていることを、はっきりと指摘しなければなりません。

そして、**世襲も含めて、政治家の閉鎖的なリクルートを続ける政党には、明確に否定的な態度を示す必要**があります。

私たちが民主主義の当事者であるために、**カースト化の傾向には真剣にあらがうべき**です。